

協会ニュース

令和 6 年 10 月 30 日
中国地区品質経営協会
広島市西区横川町 3 丁目 5 番 9 号 (世良ビル 404 号)
TEL (082) 532-6844 FAX (082) 532-6845
e-mail gmac@a1.mbn.or.jp URL <http://qmac.jp/>

令和 6 年度 第 2 回シンポジウム「モノづくりマネジメント 技術革新」

- ◆ 開催日時 : 令和 6 年 10 月 21 日 (月) 13:20 ~ 17:00
- ◆ 場 所 : 広島商工会議所ビル 1 階 101 会議室 および Zoom による web 配信方式
- ◆ 参加者 : 24 企業・団体 152 名

令和 6 年度 第 2 回目のシンポジウム「モノづくりマネジメント技術革新」は、『競争力強化/技術開発』をテーマとし、講師 3 名をお招きして、当協会会員である日本規格協会様のご協力により、会場及び Web 配信で開催しました。

お客様の要求にこたえるためには技術力の蓄積とそれによるブレイクスルーが必要であり、愚直な技術の伝承と創造性のある技術革新を継続することが肝要と考えます。

講演第一部では、ベンダ工業株式会社の 八代 一成 氏 と 片山 和彦 氏 より「60 年の歩みとこれからの未来づくりについて」と題して、「ベンダ工法」の確立によるエンジン始動用リングギア世界一のシェアを占めてきた歩みと近年のモノづくりマネジメントへの取組みについてご紹介いただきました。

講演第二部では、株式会社ダイクレの 鈴木 啓之 氏 より「技術に生きるダイクレの歩みと これからの取組みについて」と題して、国内初のグレーチングメーカーとして業界 No.1 を歩み続け、更に付加価値のある商品への用途開発の事例についてご紹介いただきました。

どちらも NO.1 を続けてきた要因として、逆境・困難に立ち向かい変革に挑む、ニーズに答えてチャレンジし続ける企業風土、そして技術開発と自社設備開発力を挙げられ、モノづくりのこだわりについてたいへん興味深く参考になる講演でした。

ご講演後は、当協会 児玉 照三副運営委員長をコーディネーターとしてパネルディスカッションが行われ、事前に会員企業・団体様から寄せられた多くの質問を基に、ディスカッションしました。その中では、実際の取組みのこだわりや、具体的な事例に対する質問など、シンポジウムに参加された方のテーマに対する高い関心度が伝わるものとなりました。

シンポジウムの開催終了後に皆様より頂いたアンケートでは、「社会情勢や顧客要求の変化に合わせて変革されてきた内容が参考になった」「お客様のニーズに応え続ける姿勢に感銘を受けた」「DX への取組みが興味深かった」などの感想が寄せられました。

また、参加動機に講演テーマを理由にあげられたご回答も多く、シンポジウムに対する満足度の高さからも、ご参加いただきました皆様にとって、非常に有意義なシンポジウムになったものと思います。



ベンダ工業株式会社
八代 一成 氏



ベンダ工業株式会社
片山 和彦 氏



株式会社ダイクレ
鈴木 啓之 氏



パネルディスカッションの様子